

2025年2月20日
公益財団法人 白鶴美術館

2025年白鶴美術館春季展のお知らせ

平素は、当館活動についてご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、当館 2025 年春季展についてお知らせさせていただきます。

当館は昭和 6 (1931) 年に白鶴酒造七代嘉納治兵衛(1862-1951)の寄贈品五百点をもとに設立され、同 9(1934)年 5 月に開館致しました。以来、東洋古美術の優品を収蔵する美術館として、春・秋二回の展示を軸に活動を続けております。

今回の春季展では、当館が所蔵する中国金工美術を中心に 45 点の名品を展示いたします(展示替えあり)。展示室第一室(一階展示室)では、重要文化財を含む、古代青銅器、第二室(二階展示室)では、主に漢時代以降の青銅鍍金工芸、唐時代の銀器や鏡など、また朝鮮・日本古墳時代の装身具も陳列いたします。

製作された地域・時代を問わず、優れた作品は、観るものを惹きつける力を持っています。是非この機会に当館が所蔵する金工美術コレクションをご鑑賞頂きたくご案内申し上げます。

なお、新館では、「中東絨毯の美 —コーカサス編」として、当館所蔵品よりコーカサスの絨毯を展示いたします。併せてご観覧ください。

■ 展覧会名 「東洋古代金工の美しき世界 — 鑄・鍛・彫の技を観る」(本館) 「中東絨毯の美 — コーカサス編」(新館)

- 会場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1 TEL/FAX:078-851-6001
■ 日時 3月1日(土)~6月8日(日) 午前10時~午後4時30分(入館午後4時まで)
■ 入館料 大人 800円 大学・高校生 500円 中学・小学生 250円
(割引 上記各団体 20名以上 2割引 65歳以上 500円)

- ・取材をご希望の場合は、本展示開始 3 月 2 日以降のご連絡 TEL(078-851-6001) をお願い申し上げます。
- ・「開館記念展 秋季の部」は 9 月 23 日(火・祝)~12 月 7 日(日)まで開催いたします。
- ・当館概要につきましては、公式サイト <https://www.hakutsuru-museum.org/about/> もご覧ください。

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
TEL/FAX 078-851-6001
(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原

展覧会基本情報：

- 展覧会名 白鶴美術館春季展
「東洋古代金工の美しき世界 一鑄・鍛・彫の技を観る」(本館)
「中東絨毯の美 一コーカサス編」(新館)

- 会場 白鶴美術館 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1
■ 日時 3月1日(土)~6月8日(日)
月曜休館
(但し、5月5日(月・祝)は開館、5月7日(水)を休館
午前10時~午後4時30分(入館午後4時まで)

- 入館料 大人 800円 大学・高校生 500円
中学・小学生 250円
(割引 上記各団体20名以上2割引 65歳以上500円)



白鶴美術館(本館展示室外観)

展示概要：

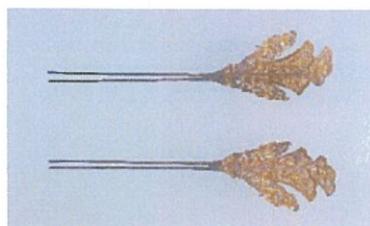
今回の展示では、当館所蔵品より中国、殷・西周時代、青銅の鑄造技術がもたらした優れた造形の祭器や、唐時代、彫金技術が最高潮に達した時代の銀器など、各時代の美術と呼ぶに相応しい金工品を展示致します。

また、日本の金工品にも、大陸の影響を受けた古墳時代の装身具、そして、仏教美術が花開く飛鳥・奈良時代の仏具・荘厳具などがあり、技術に裏打ちされた美しさをみることができます。

今回の展示では、金工美術品の材料そして技法など、東洋古代に培われた造形をご覧ください。

なお、新館では所蔵する中東絨毯より、当館が所蔵する南コーカサス地方の絨毯(19世紀後半から20世紀初期)を、カスピ海沿岸地域と中央部の山岳沿いの地域に分けて展示します。

展示作品例：



展示品例

- 左：重要文化財「鸞鷟夔鳳文方尊」西周時代
右上：重要文化財「鍍金花鳥文銀製八曲長杯」唐時代
右下：「銀製鍍金花文透彫簪」唐時代



- 左：「鍍金鍍鉢仏」隋時代
右：重要文化財「硬玉勾玉付金鎖頸飾」古墳時代

イベント:

鑄物文化を知る①<講演会>

日 時: 5月4日(日) 午後2時~3時30分

テーマ: 「殷周青銅器と飲酒儀礼」

講 師: 泉屋博古館 学芸員 山本 堯 氏

鑄物文化を知る②<特別文化財講座/ワークショップ>

日 時: 5月11日(日) 午後1時~3時30分

テーマ: 第一部: 1時~1時45分 講義「茶の湯釜の製作技術と修復技術」

第二部: 2時~3時30分 実技「古代金文製作技法を用いた古印作り」

講 師: 講義・実技講師 芦屋鑄物師 樋口 陽介 氏

<大学生ワークショップ>

日 時: 4月27日(日)、5月3日(祝・上)・18日(日)

午後1時30~3時30分

テーマ: 「クルッと反転! 紙が要のミニ屏風」

指導員: 甲南大学学生

<アート・トーク>

日 時: 6月8日(日) 午後2時~3時30分

テーマ: 「作品にみる金とその技」

講 師: 当館学芸員

<スライド解説>

日 時: 3月22日、4月26日・5月24日の各土曜日 午後1時~2時

テーマ: 「白鶴美術館の金工美術」

講 師: 当館学芸員

- ・予定の変更や入場制限など、最新の情報は当館公式サイト及びお電話でご確認ください。
- ・イベント参加には入館が必要です。
- ・イベント参加予約は行っておりません。当日イベント会場へ先着50名までとなっております。なお、「大学生ワークショップ」につきましては、限定12名までとなります。

<お問い合わせ>

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

TEL/FAX 078-851-6001

(公財)白鶴美術館 担当 学芸課 海原

公式サイト

<https://www.hakutsuru-museum.org>

白鶴美術館 春季展

本館

東洋古代金工の

美しき世界

鑄・鍛・彫
の技を観る



新館

中東絨毯の美

コーカサス編



2025年
3月1日(土) → 6月8日(日)

休館日	毎週月曜日 ※5月5日(祝・月)は開館、5月7日(水)を休館	開館時間	午前10時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
入館料	大人 800円 / 大学・高校生 500円 / 中学・小学生 250円 ※上記各団体20名以上2割引、65歳以上500円		

《お問い合わせ》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL / FAX 078-851-6001
予定の変更や入場制限など、最新の情報は、当館サイトの
トップページ、もしくはお電話でご確認のうえご来館ください。



美しき世界

鑄・鍛・彫の技を観る

古代より人びとは金属を必要な形状に加工し装飾を施して、様々な用途に用いてきました。当館は、中国、殷・西周時代、青銅の鑄造技術がもたらした優れた造形の祭器や、唐時代、銀の彫金技術が最高潮に達した時期の銀器など、各時代の美術と呼ぶに相応しい金工品を所蔵しています。

また、日本の金工品には、大陸の影響を受けた古墳時代の装身具、そして、仏教美術が開く飛鳥・奈良時代の仏具・荘厳具などがあり、技術に裏打ちされた美しさをみることができます。

今回の展示では、個々の作品について、材料そして技法などを観察し、各時代に培われた造形をみていきたいと思ひます。



重要文化財
硬玉勾玉付金鎖頸飾
古墳時代



銀製鍍金花文透彫簪
唐時代



鍍金鍍銀仏
隋時代



重要文化財
饗養夔鳳文方尊
西周時代
金文拓本「榮子作/宝尊彝」



重要文化財
鍍金花鳥文銀製八曲長杯
唐時代

新館

中東絨毯の美

コーカサス編

新館では中東絨毯より、当館が所蔵する南コーカサス地方の絨毯（19世紀後半から20世紀初期）を、カスピ海沿岸地域と中央部の山岳沿いの地域に分けて展示します。併せてご鑑賞ください。



カラバフ コーカサス
1900年頃



クバ セイチュール、コーカサス
20世紀初期

次回、秋季「新館開館30周年記念展」について

1995年10月に当館の新館が開館いたしました。同年、1月におきた阪神淡路大震災の影響により、7か月遅れとなりましたが、その開館は当館の復興記念ともなりました。

次回の秋季展には、開館当初から所蔵する当館第4代理事長嘉納秀郎（白鶴酒造第10代）コレクションの中東絨毯とともに、この30年間に新たに加わった絨毯コレクションも初公開します。

次回の展示も是非お越しください。

Event / イベント情報

講演会

鑄物文化を知る

日時：5月4日(日) 午後2時～3時30分
テーマ：「殷周青銅器と飲酒儀礼」
講師：泉屋博古館 学芸員 山本 堯 氏

大学生ワークショップ

日時：4月27日(日)、5月3日(祝・土)・18日(日)
午後1時30分～3時30分
テーマ：「クルッと反転!紙が要のミニ屏風」
指導員：甲南大学学生

特別文化財講座：ワークショップ

鑄物文化を知る

日時：5月11日(日) 午後1時～3時30分
テーマ：第一部/午後1時～1時45分 講義「茶の湯釜の製作技術と修復技術」
第二部/午後2時～3時30分 実技「古代金文製作技法を用いた古印作り」
講師：講義・実技講師 芦屋鋳物師 樋口 陽介 氏

スライド解説

日時：3月22日、4月26日、5月24日の各土曜日
午後1時～2時
テーマ：「白鶴美術館の金工美術」
講師：当館学芸員

アートトーク

日時：6月8日(日) 午後2時～3時30分
テーマ：「作品にみる金とその技」
講師：当館学芸員

- ▶ 団体でのご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
- ▶ イベントは要入館料、定員40名。状況に応じて中止する場合があります。
- ▶ 大学生ワークショップは先着12名まで。

次回秋季展は
2025年9月23日(祝・火)から開催予定です



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩15分)

お車で越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり(大型バスも可)

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

《お問い合わせ先》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001